

「あらかわの心」ニュース



第15号 平成24年10月5日発行

〔発行〕「あらかわの心」推進運動区民委員会
〔事務局〕〒116-8501 荒川区荒川2-2-3 荒川区子育て支援部児童青少年課内 TEL 3802-3111 内線 3833 FAX 3802-0809
〔メールアドレス〕 arakoko@city.arakawa.tokyo.jp 〔ホームページアドレス〕 http://www.city.arakawa.tokyo.jp/kosodate/index.html

川の手荒川まつりでPR活動

4月29日(祝)東尾久運動場及び都立尾久の原公園にて、第26回川の手荒川まつりが開催されました。

「あらかわの心」推進運動区民委員会は、ステージで「あらかわの心」のPR寸劇を上演しました。昨年は東日本大震災の影響により、川の手まつりが中止だったため、2年振りに多くの区民の皆さんの前でPRすることができました。

子どもたちに好評の寸劇「カルタ編」は、「あらかわの心」5つの取り組みである「あいさつ」「きまり」「思いやり」「体験」「見守り」を表現したものです。

「荒川は 笑顔とあいさつ にあう町」。小さな声のA君、元気にあいさつするB子ちゃんが登場。「AくんとB子ちゃんどちが良いいあいさつですか」ナレーターの間いかけに、子どもたちは、元気な声で答えてくれました。



▲PR寸劇を上演しました



▶ブースも大盛況!

寸劇を通して、子どもたちだけでなく、お父さんお母さんにも「あらかわの心」の大切さが伝わったようです。また、「あらかわの心」ブースでは、「あらかわの心」カルタを題材にしたクイズを実施しました。当日は、300名を超える子どもたちがクイズに挑戦し、「あらかわの心」の内容についての理解を深めました。

ミニ隅田川でどじょう・金魚つかみ

青少年育成地区委員会連絡協議会では、第26回川の手荒川まつりにて、毎回好評の「ミニ隅田川」を実施しました。

水車が付いた長いプラスチック製の堀を隅田川に見立て、その中に放流したどじょうと金魚を子どもたちがつかみ取りします。今年は50人を5分ごとに入れ替え、計1千人が参加しました。

どの子どもも一生懸命手を伸ばして、活きが良くすばしっこいどじょうと金魚に悪戦苦闘。あちこちで「つかめないうー」「もうちょっとなのにな」「やっ！取れた！」などという声が聞こえました。中には、夢中になりすぎるあ



▲「それっ、つかめ!」

まりミニ隅田川に落ちてしまつ子や、わが子よりも身を乗り出しそうなお父さんの姿も……。

天候にも恵まれ、用意したどじょう15kgと金魚2千匹は全て、参加してくれた子どもたちへのお土産となり、盛り上がりつつある時となりました。

第4回「あらかわの心」カルタ大会を開催します

来年2月に4回目を迎える「あらかわの心」カルタ大会を開催します。「あらかわの心」カルタで楽しく遊びましょう。入賞者にはメダルを授与します。

申し込みは12月頃から、詳しくは区報等でお知らせします。

平成25年2月2日(土) (予定)
午後1時～3時

東日暮里三丁目ひろば館

対象者 小学生とひらがなの読める未就学児
(小学校に入学する前のお子さん)



▲第3回「あらかわの心」カルタ大会の様子

「しぐさ」に学ぶ 尾久西「四しぐさ」

尾久西小学校には、尾久西「四しぐさ」があります。

「四しぐさ」とは、尾久西しぐさ・尾久西学びしぐさ・尾久西給食しぐさ・尾久西生活しぐさを言います。

「尾久西学びしぐさ」とは、「江戸しぐさ」をもとに考案し、学習や生活のルール・習慣を身に付けさせる取組をしています。

「学びしぐさ」には「ふりかえりカード」があり、各自がチェック表にチェックをしています。保護者の方々には、子どもたちへの声かけや励ましをお願いしています。5月には先生方の寸劇を取り入れた「尾久西・学びしぐさ」集会を行います。

また、6月30日は土曜授業公開日に合わせ「あいさつふれあいチャレンジプロジェクト」尾久西小学校」を体育館で開催し、米田 功氏(アテネオリンピック体操団体金メダリスト)を講師に、あいさつに関する講演・トークショーや



▲先生方による「寸劇」の様子

子どもたちが演じる体操の実技を交え、楽しいひとときを過ごしました。
私は時折、学校に伺うのですが、先日「あいさつひびかせ隊」に遭遇し、さわやかな光景に出会いました。尾久西小学校には「しぐさ」がいっぱいあります。
「あらかわの心」幹事 川田 和子

「ふれあいコンサート」が開催されました

荒川西ライオンズクラブでは、青少年育成事業の一環として、荒川区教育委員会の指導の下、生の演奏を子どもたちに聴いてもらうと定期的に荒川区立の小学校を順番に回り「ふれあいコンサート」を開催しています。

今年は、1月18日(水)に尾久宮前小学校、6月15日(金)に第六日暮里小学校にて、活動開始当初からのパートナーである「NPO法人地球の鼓動(おと)」のプロ3名(ピアノ・バイオリン・パーカッション)による演奏が行われました。

会場の体育館には綺麗な垂れ幕やお花が飾られ一瞬にしてコンサート会場に早変わり。子どもたちが大好きな「トルコ行進曲」や、リズムカルな「チャルダッシュ」が始まると、演奏家の目の前に座る低学年の子どもたちは思わず手拍子や足踏みをしたり、また高学年の子どもたちは静かに耳を傾け、ライブ演奏の魅力に引き込まれていました。演奏のお礼に、各小学校の全校児童による校歌合唱があり、演奏家との楽しい交流のひとつとなりました。



▲ふれあいコンサートの様子

このような活動を通じ、子どもたちにとって音楽がより身近で楽しいものになってくれれば嬉しく思います。

東京荒川西ライオンズクラブ
青少年育成委員長 大野 福次

三日小自転車マナーの取り組み

平成14年7月、荒川区では交通ルールとマナーの向上、また自転車事故の防止を図るため、自転車運転免許制度が発足しました。三日小もいち早くこの制度に参加し、毎年四年生が実技や講習を受け、自転車運転免許証を交付していただいています。このような取組が評価され、昨年1月全国交通安全国民運動中央大会にて交通安全優良校として表彰されました。

また、昨年11月には、荒川警察署から三日小PTAに「自転車マナーアップ推進隊」の要請があり、先生方とPTA役員を中心に結成し、活動を開始しました。そして荒川警察署管内で最初に協力させていただいたことを評価され、先の春の全国交通安全運動にて感



▲自転車カゴでも啓発活動



▲交通安全優良校表彰記念の盾

謝状をいただきました。これらの受賞を誇りに思い、今後も三日小の子どもたち、先生方、PTAが一丸となり、交通安全に努めていきたいと思います。

三日小PTA会長 井出 聡

〈体験〉レインボー子ども会バス旅行

レインボー子ども会では、7月14・15日に一泊二日で、神奈川県相模原市にある「藤野芸術の家」へバス旅行に行きました。行きは三連休の初日でもあり渋滞していましたが、バスをの楽しみました。バスに座った隣のレインボーを介して「他己紹介」、紙テープやバルーンを使って座席の列ごとに競うゲーム、クイズ大会なども行いました。初めてレインボー子ども会に参加してくれた家族も、バスレクを通してすぐに仲良くなりました。

藤野芸術の家の工房では、ガラス細工、木工、陶芸などが制作できます。私は風鈴と硝子のビンのサウンドブラストを作りました。

夕食は野外キャンプ場にて、皆で協力してカレーライスと焼きそばを作りました。両方とも、とても美味しかったです。また、皆で過ごすお部屋での夜は楽しすぎてなかなか眠れませんでした。2日目は、ブルーベリー狩りやプール

に行きました。楽しいことが盛りだくさんだったので、帰りのバスでは皆クタクタでした。

最後に、バスの運転手さんと応援してくれたお父さん、お母さんに皆で、ありがとうございました。と言いました。

レインボー子ども会会長 大場 愛理



▲みんな楽しく過ごしました

「花見会」で「俳句会」

桜が満開の春の宵に、荒川公園で盛大な花見会が催されるようになり久しくなりました。集まる顔ぶれは、荒川区立小学校PTA会長OB会の人々とその関係者で、20数年間、恒例として継続されているという年季が入ったものです。顔ぶれの多くが、元区立小学校PTAの会長さんだけあって、今も各地域での諸活動に現役で参加されており、話題は豊富、まさに談論風発の花見会となるのが特徴です。

この花見会に、4年前より新しい趣向として「俳句会」が加わりました。さすがと思わせる「名句」もあれば、他の会員を安堵させる「迷句」ありで、しばし

の間はお酒を飲むのも忘れて「作句」に励む姿がほほえましいものです。作品は、歌集としてまとめられているというので、ご期待ください。

花見酒 迷句が浮かびにが笑い (作者不明)

荒川区立小学校PTA連合会OB会

前会長 小林 清二郎



▲歌集より一部をご紹介します

グリーンパーク上中里 自治会活動より

西尾久8丁目にあるグリーンパーク上中里自治会では、一ヶ月に1回の予定で、年齢に関係なくなたでもご参加いただけるサロン「グリーンパーク上中里 粋・活サロン(お茶しませんか?)」を開催しています。

先日自治会では、マンション住民も高齢化してきた現状を踏まえ、住民同士が気軽に「この手貸します!その手お借りします!」といった関係を少しずつ構築していく必要があるのでは、との話し合いを行いました。

そんなある日、粋・活サロンに参加されているご高齢の一人暮らしの方が、ゴミ収集日に付き添いなしで階下へ行くことが大変なため、毎日遠方から来られる娘さんがゴミを持ち帰っているというお話をお聞きしました。そこで現在は、収集日前日にこちらからお宅に回収に向い、翌日に我が家のゴミと一緒に出すようにしています。その方の安否確認もでき、私も安心します。

また、ご高齢のご夫婦だけで生活されているお宅を時々訪ね談話をする中で、歩行が不自由なご主人、腰痛があり視力も弱られている奥様共々、本当に良く頑張られている姿に、学ぶ事もたくさんあります。

今後も私たち住民が「この手貸します!その手お借りします!」と自助・共助の輪を広げ、できないことは行政の力を借りながら、高齢になってもここに住んでいたいと思えるような関係を自治会として作っていききたいと思います。

グリーンパーク上中里自治会役員
粋・活サロン担当 桜木 弘子